

令和5年度 第四峡田小学校 英語教育 研究構想図

学校の教育課題

東京都教育ビジョン
荒川区学校教育ビジョン

児童の実態
教職員の実態や願い
保護者の願い

学校教育目標

人権尊重の精神に基づき、よりよい地域社会や国際社会の担い手として、主体的、創造的、協働的に生きることのできる、心身ともに健康で、人間性豊かな児童の育成を目指す。

元気な子

やさしい子

考える子

児童の実態

- ・英語を学ぶことは大切だと実感している。
- ・英語を使えるようになりたいと考える児童が多く、学習に対して前向きに取り組んでいる。
- ・外国の人々と英語を使ってコミュニケーションを取ることは消極的である。
- ・英語で先生と会話をしたり、自分の考えを述べたりすることに対して、消極的な児童もいる。

目指す児童像

自分の考えや想いを英語で伝えたり、英語を用いたコミュニケーションをすすんで取ったりすることができる児童

研究主題

自分の考えや想いを表現しようとする児童の育成
～『本当に伝えたいこと』を豊かに表現する言語活動を通して～

研究仮説

児童が『本当に伝えたい』と思う自分の考えや想いを表現する言語活動を展開していくことによって、英語という言語に対する不安感を取り除くことができれば、児童が実際に英語を活用してみようという前向きな姿勢や、臆することなく自分の考えを英語で伝えたりコミュニケーションを取ろうとしたりする姿が見られるであろう。

研究の手だて

手だて①

『本当に伝えたいこと』
を表現し合う言語活動

手だて②

必然性のある
単元計画の設定

手だて③

英語活用場の設定

手だて④

英語教育の環境整備

研究の方法

(1) 基礎研究

- ・講師による講演会
- ・児童に対する実態調査
- ・成果と課題

(2) 授業研究

- ・年6回の研究授業
- ・年6回の事前授業
- ・1年間を通じた英語の授業

(3) 校内環境整備

- ・英語による校内掲示
- ・English Day や Talking Time の実施